

## 栃木県及び周辺の地震活動（令和 8 年 5 月）

### 【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 3 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 7 回（前月 12 回）、震度 3 以上を観測した地震が 2 回（前月 2 回）ありました。

### 【栃木県及び周辺の地震活動】

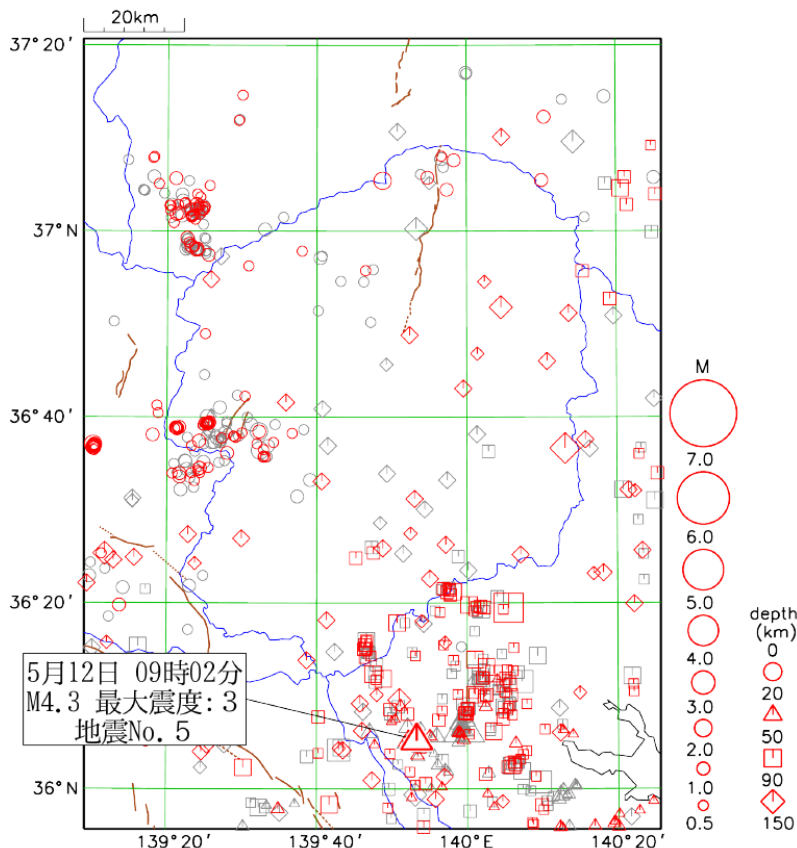


図 1 震央分布図 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 5 月 31 日)

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ (depth) は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (平島、小宝島)、EarthScope Consortium の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』(国土地理院) を加工して作成した。

## 【5月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	国内最大震度	県内最大震度
	月日	時分							
1	5月6日	4時35分	福島県中通り	37° 27.1'	140° 43.8'	88	4.3	3	1
2	5月6日	19時06分	神奈川県東部	35° 26.6'	139° 30.9'	105	4.2	3	1
3	5月8日	3時50分	茨城県南部	36° 19.4'	140° 05.5'	69	4.3	3	2
4	5月8日	8時31分	福島県沖	37° 30.4'	141° 32.6'	47	4.7	3	1
5	5月12日	9時02分	茨城県南部	36° 05.1'	139° 53.2'	49	4.3	3	3
6	5月15日	20時22分	宮城県沖	38° 54.2'	142° 05.8'	46	6.4	5弱	3
7	5月24日	15時08分	茨城県沖	36° 26.3'	140° 41.3'	52	3.9	3	1

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

## 【震央分布図範囲内の地震】

### 1. 茨城県南部（地震No. 5）

12日9時2分に茨城県南部で発生した地震（深さ49km、M4.3）により、栃木県と茨城県で震度3を観測したほか、関東地方と福島県で震度2から1を観測しました。栃木県では宇都宮市、真岡市、下野市で震度3を、10市町で震度2を、10市町で震度1を観測しました（図2）。

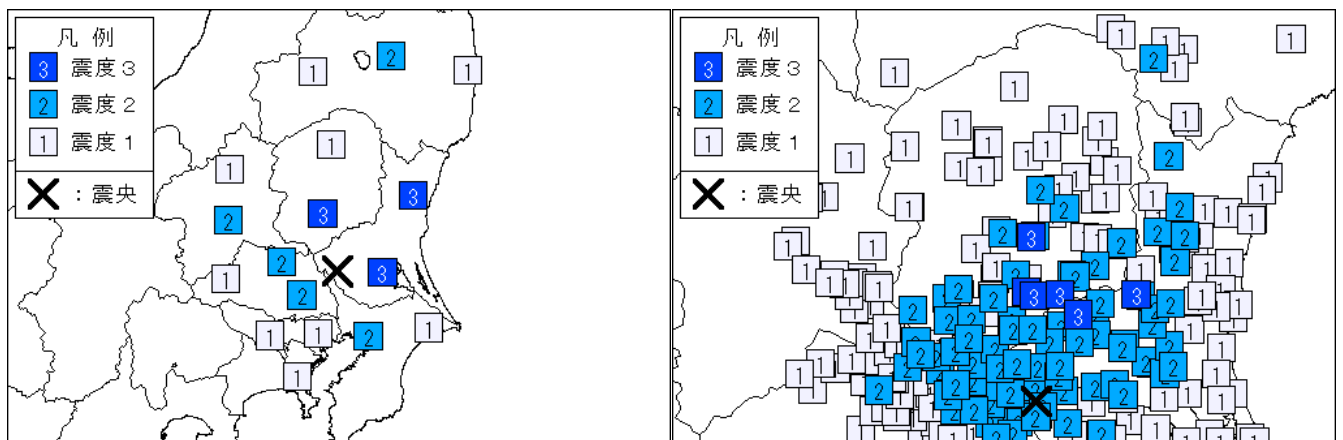


図2 12日9時2分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

## 【震央分布図範囲外の地震】

### 1. 宮城県沖（地震No. 6）

15日20時22分宮城県沖で発生した地震（深さ46km、M6.4）により、宮城県で震度5弱を観測したほか、北海道から関東甲信越地方にかけて震度4から1を観測しました。栃木県では大田原市、高根沢町、那珂川町で震度3を、16市町で震度2を、5市町で震度1を観測しました（図3）。

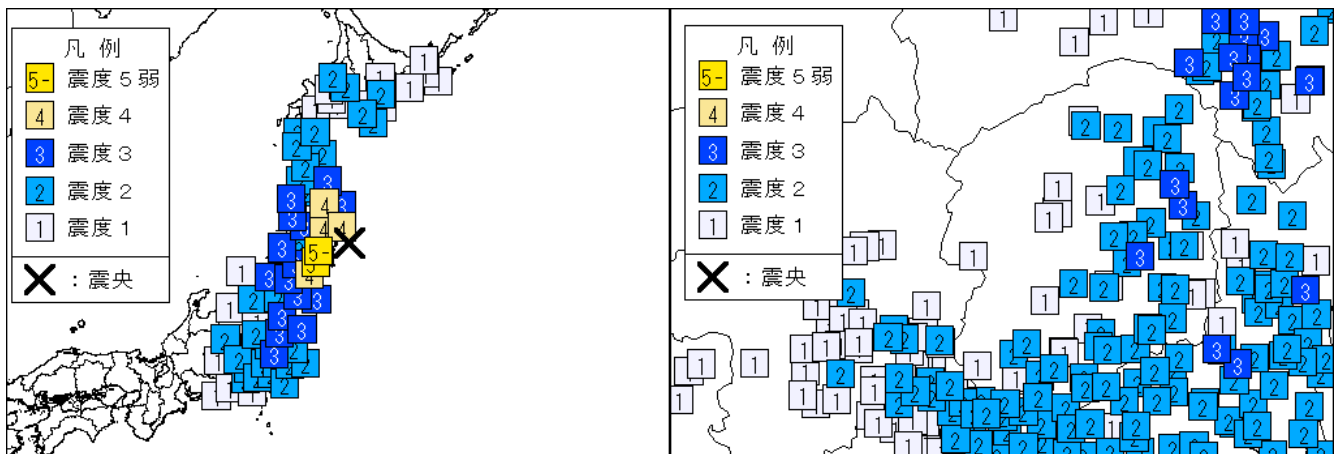


図3 15日20時22分 宮城県沖の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

### 【防災メモ】栃木県及びその周辺の活断層

栃木県内には、関谷（せきや）断層と内ノ籠（うちのこもり）断層があり、周辺では、群馬県に片品川（かたしながわ）左岸断層、大久保（おおくぼ）断層、太田（おおた）断層があります。

#### ○関谷断層

那須岳北方の福島県境付近から、那須塩原市、矢板市を経て、塩谷町まで伸びる長さ約38kmに渡る活断層で、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。最新の活動は、14世紀以降、17世紀以前と推定されていて、平均的なずれの速度は1,000年に1m程度、平均的な活動間隔は2,600年から4,100年程度と推定されています。この断層で地震が起きる場合の規模はマグニチュード7.5程度と推定され、この規模の地震が発生すると、断層近傍の地表面では、西側が東側に対して相対的に3～4m程度高くなると考えられています。今後100年以内の発生確率はほぼ0%、300年以内の地震発生確率はほぼ0%から0.003%で、ランクZ（低い）と評価されています。

#### ○内ノ籠断層

日光市の南西部にある活断層で、北北東から南南西に伸びていて、長さは不明です。内ノ籠断層で最も大きい地震が発生した場合、規模はマグニチュード6.6程度と推定されていますが、最新の活動時期、平均活動間隔のいずれも不明で、地震発生確率も不明（ランクX）と評価されています。

#### ○片品川左岸断層

群馬県片品村から利根町にかけて、片品川の東側（左岸）を北北東から南南西に伸びる活断層で長さは不明です。最新の活動時期は不明で、平均的なずれの速度は1000年に0.2m程度、平均活動間隔は5,200年から8,100年程度で、最も大きな地震が発生した場合の規模はマグニチュード6.7程度と推定されています。今後30年以内の発生確率は0.4%から0.6%以上、50年以内の発生確率は0.6%から1%以上、100年以内の発生確率は1%から2%以上、300年以内の発生確率は4%から6%で、ランクA（やや高い）と評価されています。

#### ○大久保断層

群馬県の前橋市から桐生市、みどり市、栃木県足利市にかけて西北西から東南東方向に伸びる活断層で、断層の北東側が相対的に隆起する逆断層です。断層の長さは20km以上の可能性もあるとされています。平均的なずれの速度は1000年に0.4m程度で、平均的な活動間隔は5,000年程度と推定されています。この断層で最も大きな地震が発生した場合、規模はマグニチュード7.0程度以上と推定され、今後30年以内の発生確率は0.6%、50年以内の発生確率は1%、100年以内の発生確率は2%、300年以内の発生確率は6%で、ランクA（やや高い）と評価されています。

#### ○太田断層

群馬県の桐生市から太田市、邑楽町、大泉町、千代田町にかけて北北西から南南東方向に伸びる活断層です。断層の西側が相対的に隆起する逆断層で、断層の長さは約18kmと推定されています。この断層で最も大きな地震が発生した場合、規模はマグニチュード6.9程度と推定されています。最新の活動時期は約16,000年前以降、西暦1,108年以前と推定されていますが、平均的な活動間隔は不明で、地震発生確率も不明（ランクX）と評価されています。

- ・地震調査研究推進本部  
<https://www.jishin.go.jp/>
- ・栃木県の地震活動の特徴（地震調査研究推進本部）  
[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_kanto/p09\\_tochigi/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kanto/p09_tochigi/)
- ・地震から身を守るために（気象庁）  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin\\_bosai/index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html)

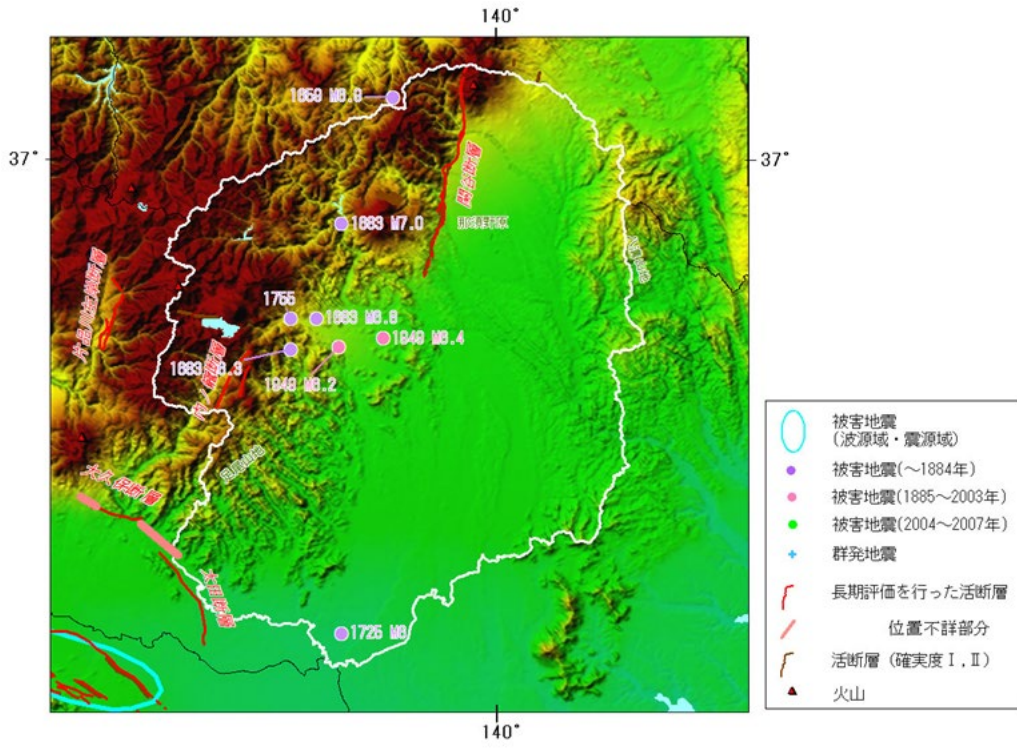


図4 栃木県とその周辺の主な被害地震  
 (出典：地震調査研究推進本部)

資料についての問い合わせ先：宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260